

Herz und Mund und Tat und Leben**BWV 147****1. Chorus**

Herz und Mund und Tat und Leben

心と口と行いと生き方が

muß von Christo Zeugnis geben

キリストの証しとならなければならない

ohne Furcht und Heuchelei,

恐れもてらいもなく、

daß er Gott und Heiland sei.

彼が神であり救い主であることの（証しとならなければならない）。

2. Recitativo accompagnato

Gebenedeiter Mund!

祝福された口よ！

Maria macht ihr Innerstes der Seelen

マリアは心の奥底を

durch Dank und Rühmen kund;

感謝と賛美を通して告げ知らせる

sie fängt bei sich an,

彼女は自身のことから、

des Heilands Wunder zu erzählen,

救い主の奇跡について語りはじめる、

was er an ihr als seiner Magd getan.

彼が主のはしためになされたことを。

O! menschliches Geschlecht,

おお！人間という種族よ、

des Satans und der Sünden Knecht,

悪魔と罪の奴隷よ、

du bist befreit

あなたは解放される

durch Christi tröstendes Erscheinen

キリストの慰めが現れることによって

von dieser Last und Dienstbarkeit!

この重荷と隷属から！

Jedoch dein Mund und dein verstockt Gemüte

しかしなおあなたの口とかたくなな心は

verschweigt, verleugnet solche Güte;

押し黙り、これほどの慈愛を拒む。

doch wisse, daß dich nach der Schrift

だが知るが良い、あなたは聖書（の預言）に従って

ein allzu scharfes Urteil trifft.

あまりにも厳しい裁きに遭うことを。

3. Aria

Schäme dich, o Seele, nicht,

恥じるな、おお私の魂よ

deinen Heiland zu bekennen,

これが私の救い主だと告白することを、

soll er dich die Seine nennen

もし彼に自分のものと呼ばれようとするのなら

vor des Vaters Angesicht!

父である神の前において！（呼ばれようとするのなら）

Doch wer ihn auf dieser Erden

だがこの地上において

zu verleugnen sich nicht scheut,

彼を知らないと言ってはばからない者は、

soll von ihm verleugnet werden,

彼からも知らないと言われるだろう、

wenn er kömmt zur Herrlichkeit.

彼が栄光の座に着かれるときに。

4. Recitativo

Verstokkung kann Gewaltige verblenden,

かたくなさは権力ある者の目を曇らせ、

bis sie des Höchsten Arm vom Stuhle stößt;

やがて主の腕は彼らをその座から突き落とす。

doch dieser Arm erhebt,

だが一方でその腕は引き上げる、

obschon vor ihm der Erden Kreis erbebt,

たとえその前で地球が揺れ動いても、

hingegen die Elenden,

貧しく惨めな人々を（引き上げる）、

so er erlöst.

彼が救われる人々を。

O hochbeglückte Christen,

おおこの上なく恵まれたキリスト者よ、

auf, machet euch bereit,

立ち上がれ、備えよ、

itzt ist die angenehme Zeit,
 今は恵みの時、
 itzt ist der Tag des Heils: Der Heiland heißt
 今日 是 救い の 日 。 救い 主 は あな た が た に 命 じ ら れ る
 euch Leib und Geist
 身 体 と 心 を
 mit Glaubensgaben rüsten,
 信 仰 の た ま も の で 整 え、
 auf, ruft zu ihm in brünstigem Verlangen,
 立 ち 上 が り、 彼 に 向 か っ て 熱 い 願 い を も っ て 呼 ば わ り、
 um ihn im Glauben zu empfangen.
 彼 を 信 仰 に よ っ て 受 け 入 れ よ と。

5. Aria

Bereite dir, Jesu, noch itzo die Bahn,
 備 え て く だ さ い、 イ エ ス よ、 今 に も あ な た の 道 を、
 mein Heiland, erwähle
 私 の 救 い 主 よ、 選 ん で く だ さ い
 die gläubende Seele
 こ の 信 じ る 魂 を
 und siehe mit Augen der Gnaden mich an.
 そ し て 慈 愛 の 眼 差 し で 私 を 見 て 下 さ い。

6. Choral

Wohl mir, daß ich Jesum habe,
幸 せ だ 私 は、 イ エ ス は 私 の も の、
o wie feste halt ich ihn,
お お こ ん な に 固 く 彼 を 抱 き し め て、
daß er mir mein Herze labe,
彼 が 私 の 心 を 生 き 返 ら せ る よ う に、
wenn ich krank und traurig bin.
私 が 病 ん で 悲 し み の 底 に あ る と き に。
Jesum hab ich, der mich liebet
私 は イ エ ス の も の、 私 を 愛 さ れ る
und sich mir zu eigen gibet;
そ し て 自 分 自 身 を 私 の も の と し て 与 え て 下 さ る。
ach drum laß ich Jesum nicht,
あ あ だ か ら 私 は イ エ ス を 放 さ な い
wenn mir gleich mein Herze bricht.
た と え 私 の 心 が 砕 け よ う と す る と き に も。

Parte seconda (第2部)

Nach der Predigt (説教後)

7. Aria

Hilf, Jesu, hilf, daß ich auch dich bekenne,
 助 け を、 イ エ ス よ、 助 け を、 私 も あ な た に 信 仰 を 告 白 で き る よ う に
 in Wohl und Weh, in Freud und Leid,
 幸 せ の 時 も 嘆 き の 時 も、 喜 び の 時 も 悲 し み の 時 も、
 daß ich dich meinen Heiland nenne
 私 が あ な た を 救 い 主 と 呼 べ る よ う に
 im Glauben und Gelassenheit,
 信 仰 と 平 安 の う ち に (呼 べ る よ う に)、
 daß stets mein Herz von deiner Liebe brenne,
 常 に 私 の 心 が あ な た の 愛 に よ っ て 燃 え る よ う に。
 hilf, Jesu, hilf!
 助 け を、 イ エ ス よ、 助 け を !

8. Recitativo

Der höchsten Allmacht Wunderhand
 至 高 で 全 能 の 奇 跡 の 手 は
 würkt im Verborgenen der Erden.
 こ の 地 上 で 人 知 れ ず 働 い て い る。
 Johannes muß mit Geist erfüllet werden,
 ヨ ハ ネ は 聖 霊 に 満 た さ れ た に 違 い な い
 ihn zieht der Liebe Band
 愛 の 絆 が 彼 を 引 き 寄 せ た の だ
 bereits in seiner Mutter Leibe,
 す で に 母 の 胎 内 に い る と き に、
 daß er den Heiland kennt,
 そ れ は 彼 が 救 い 主 を 知 る た め だ っ た、
 ob er ihn gleich noch nicht
 彼 は そ の 時 ま だ
 mit seinem Munde nennt,
 そ の 口 で (救 い 主 の) 名 を 呼 ぶ こ と は で き な か っ た が、
 er wird bewegt, er hüpfet und springet,
 彼 は 揺 り 動 か さ れ、 彼 は 飛 び 跳 ね た、
 indem Elisabeth das Wunderwerk ausspricht,
 エ リ ザ ベ ト が 奇 跡 を 語 る 間 に、
 indem Mariae Mund der Lippen Opfer bringet.
 マ リ ア の 口 が 唇 の 捧 げ も の (神 へ の 賛 美) を 運 ぶ 間 に。

Wenn ihr, o Gläubige, des Fleisches Schwachheit merkt,
 もしあなたがたが、おお信者よ、肉体の弱さに気づき、
 wenn euer Herz in Liebe brennet,
 もしあなたがたの心が愛に燃えていながら、
 und doch der Mund den Heiland nicht bekennet,
 なおその口が救い主への信仰を告白しないときには、
 Gott ist es, der euch kräftig stärkt,
 神こそがあなたがたを強めて下さる、
 er will in euch des Geistes Kraft erregen,
 彼はあなたがたのうちに聖霊の力を引き起こし、
 ja, Dank und Preis auf eure Zunge legen.
 そうだ、感謝と賛美をあなたがたの舌の上に置いて下さるのだ。

9. Aria

Ich will von Jesu Wundern singen
 私はイエスの奇跡を歌おう
 und ihm der Lippen Opfer bringen,
 そして彼に唇の捧げものを運ぼう、
 ich will von Jesu Wundern singen.
 私はイエスの奇跡を歌おう。
 Er wird nach seiner Liebe Bund
 彼は、その愛の契約によると、
 das schwache Fleisch, den irdschen Mund
 弱い肉体、この世の口を
 durch heiliges Feuer kräftig zwingen.
 神聖な火の力によって（信仰に向くように）力強く強いて下さるのだ。

10. Choral

Jesus bleibet meine Freude,
 イエスはあくまでも私の喜び、
 meines Herzens Trost und Saft,
 私の心の慰めそして活力、
 Jesus wehret allem Leide,
 イエスはすべての苦しみから護り、
 er ist meines Lebens Kraft,
 彼は私の生きる力、
 meiner Augen Lust und Sonne,
 私の目の楽しみそして太陽、
 meiner Seele Schatz und Wonne;
 私の魂の宝そして喜び、
 darum laß ich Jesum nicht,
 だから私はイエスを放さない、
 aus dem Herzen und Gesicht.
 私の心と目の及ぶ限りから。